



## ■ 多数精鋭によるチーム医療の体制作り

常勤職員数は荻窪病院が正規雇用した職員数（非常勤職員は常勤換算して集計）を示しています。医療機関は多職種のスペシャリスト（医療従事者）と病院の経営管理や医療従事者をサポートする事務職員で構成されています。1人の患者さんに対して多数の医療従事者が診療やケアに関わる事で良好な経過の下早期社会復帰を可能とし更に病床の効率的な運営にも寄与致します。しかし人員が増加する事で各種経費の増加は基より職員の能力のばらつきが大きくなる事にもつながる為、院内外での教育機会を通じて育成を図る必要があります。

荻窪病院で最も多く職員が在籍する部署は看護職員とメディカルクラークで構成する看護部で半数以上を占めています。医療技術部門（各技師職種、メディカルアシスタント）を構成する副医療部と総務・医事などの業務管理・請求業務にあたる事務職が同率の構成比率、医師、カウンセラーが所属する診療部が12%で構成されています。虹クリニックは在籍する医師、看護師、培養士、事務職を全て含めております。

部署別職員構成比率（2015年度）

